

ぬましたフオートやとほ



大規模な自然災害の発生に備えて
災害時における応急対策活動に関する協定書調印式
10月14日(火)

本協定は、大規模な自然災害発生時やその恐れがあるときに、市と建設業協会沼田支部が連携し、道路、水路、河川などの施設や公共建築物に対する応急対策活動を迅速かつ的確に実施し、市民の生命、身体および財産の安全確保を図ることを目的としています。

調印式で青柳剛支部長は、「スキルを持った人間が力を発揮することが大事。中身の実行が伴った協定にしていきたい」と話しました。

秋の大感謝祭オータムフェスタvol.3
2014年沼田のうまい揚げ物店認定
10月11日(土)、12日(日)

毎年多くの来場者でにぎわうオータムフェスタには、市内の揚げ物店はもちろん、県内外の有名店が多数駆け付け、それぞれ自慢の味を披露しました。

会場には、利根実業高校生が開発したブルーベリーアイス春巻きも登場し、長い行列が続きました。

両日共に2014年沼田のうまい揚げ物店認定投票が行われ、「割烹つるや」、「(有)河内屋菓子店」が2014年沼田のうまい揚げ物店として認定を受け、(有)河内屋菓子店は、3度目の受賞により見事殿堂入りとなりました。おめでとうございます。



市ホームページでも、イベント結果などを紹介しています。ぜひ、ご覧ください。

現代の名工がよみがえらせた沼田城
ミニチュア版「沼田城」、「五重の塔」寄贈
10月14日(火)

国内最高水準にある現役の技能者に与えられる称号「現代の名工」として、神社仏閣造り一筋に活躍してきた宮大工の杉田大吉さんが、自ら制作したミニチュア版「沼田城」と「五重の塔」を市へ寄贈してくださいました。

沼田城は今年9月に、五重の塔は昨年6月に完成したもので、杉田さんは毎日のように作業場に通り完成させたそうです。圧巻の2作品は市役所市民ホールに設置されています。



YOROZU
よろずとーく 91
TALK

アーティスト
小野 養豚んさん
(白沢町)
Yoton Ono

「私の作品を観る人は鑑賞者でありお肉を買う消費者でもあります。命を頂くありがたみについて、改めて自身と会話し見つめ直してもらえればと思います」茨城県つくば市を活動拠点に個展やグループ展の開催など、アーティストとしてメッセージを発信する養豚んさん。実家が養豚場ということもあり、豚の生産工程にヒントを得たりアルな立体造形を制作している。スーパーで気軽に購入できるなど、なじみある食材とされる豚肉だが、その生産工程を知る消費者は少ない。現場では、システマチックな環境で合理的に豚が飼育されているという。



図書館3階
来館者を出迎える2匹
左から「ぶつぶ」、「くつく」

「食肉としての品質、生産効率を優先する現場では、豚の運動を制限して飼育し手早く成長させます。あくまで人間の都合ですね。それは人のエゴなので、は？という問いがあります。私たちが生きるために食べなくてはなりません。畜産業にはそういう葛藤があります」養豚んさんの作品は、生産現場のありのままを表現することで、観た人に「生」に対する意識を喚起させる。先日、作品が図書館へ寄贈された。

「食肉としての品質、生産効率を優先する現場では、豚の運動を制限して飼育し手早く成長させます。あくまで人間の都合ですね。それは人のエゴなので、は？という問いがあります。私たちが生きるために食べなくてはなりません。畜産業にはそういう葛藤があります」養豚んさんの作品は、生産現場のありのままを表現することで、観た人に「生」に対する意識を喚起させる。先日、作品が図書館へ寄贈された。



「生」に対する意識を喚起させる作品
ありのままを表現することで

われら いっしょいっしょ サークル 250

中学生ボランティアリーダー養成講座
(会員数20人)



事務局 市教育委員会社会教育課
(連絡先 ☎0278-23-2111 内線3332)

中学生の積極的な社会参加の推進を図るために平成9年発足した養成講座です。市内在住の中学生で子ども会活動やボランティア活動に興味のある生徒を毎年募っています。各生徒は、レクリエーションや料理教室、救急法講座、文化祭補助、保育園やデイサービス補助、人権講習などを通じて、積極的に人に関わったり、自ら行動する意欲を身に付けています。今年も20人のメンバーが明るく元気に取り組んでいます。応援よろしくお願いします。